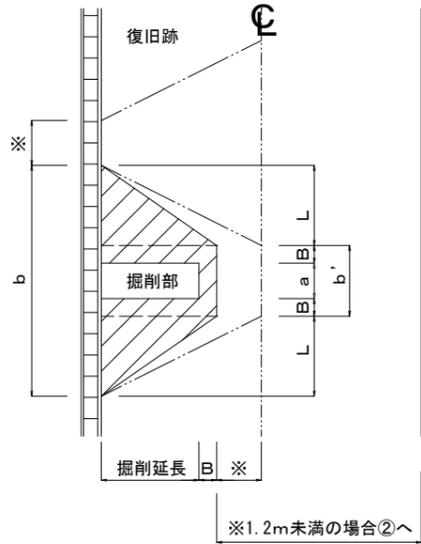


舗装復旧平面図

車道部

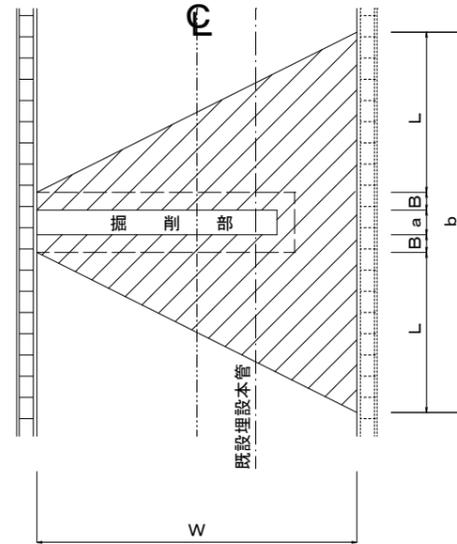
①小穴掘削



ただし $L = (\text{掘削幅} + \text{影響幅}) / 2$

※復旧すべき部分の施工予定端から舗装絶縁線までの距離が1.2m未満の場合は、一体復旧とする。

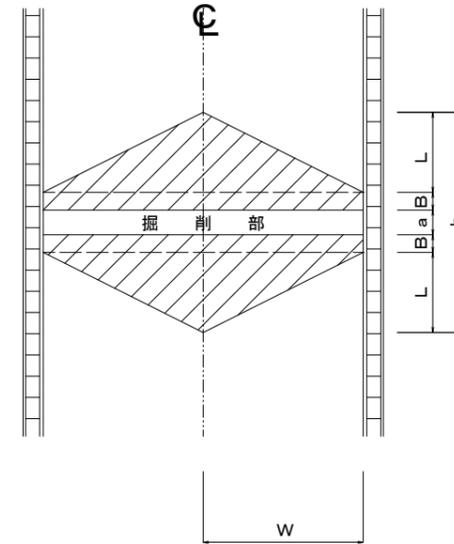
②横断掘削（舗装幅5.5m未満）



ただし $L = w / 2$

※既設埋設本管からの取出し位置が、舗装中心線を越える場合は、取出し位置側を台形の底面形状とする。

③横断掘削（舗装幅5.5m以上）



ただし $L = w / 2$

《備考欄》

※既設舗装絶縁線及び、マンホール、集水マス等が隣接する場合は、一体復旧を基本とする。

※復旧箇所に既設排水構造物（側溝・マス等）がある場合は、雨水が均等に流れるよう勾配をつけて本復旧を行うこと。

※本復旧を施工した際には、既設舗装との切断面にシールコートを塗布すること。

※路面標示を撤去した場合は、必ず復旧（溶融式）を行うこと。

《車道影響幅 B》

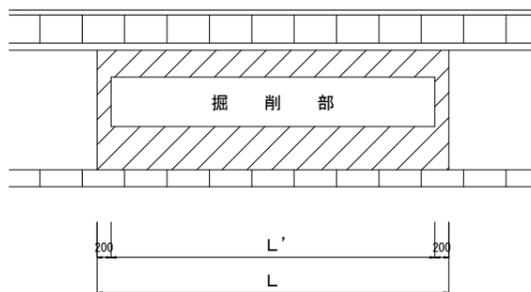
工種A…0.50

工種B…0.45

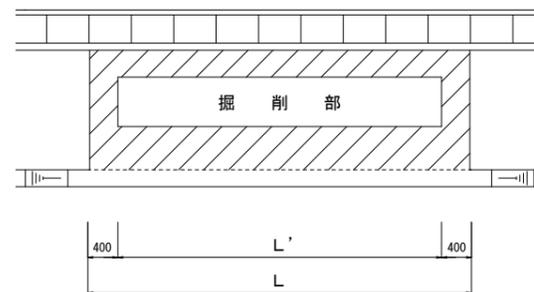
工種C…0.35

歩道部

④縦断掘削（一般部）

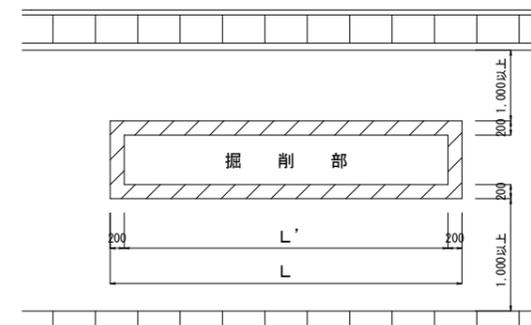


⑤縦断掘削（出入口部）



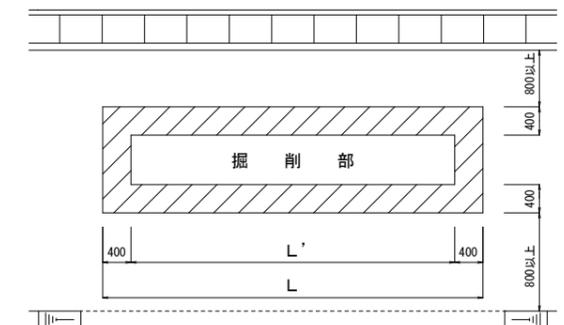
<広幅員歩道の特例>

⑥縦断掘削（一般部）



<広幅員歩道の特例>

⑦縦断掘削（出入口部）



《歩道影響幅》

出入口…0.40

一般部…0.20